

通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）

通貨セレクトコース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2019年7月16日）
第85期（決算日 2019年8月13日）
第86期（決算日 2019年9月13日）
第87期（決算日 2019年10月15日）
第88期（決算日 2019年11月13日）
第89期（決算日 2019年12月13日）

（作成対象期間 2019年6月14日～2019年12月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円ヘッジコース（毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース（毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>
<5736>

円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
60期末(2017年7月13日)	円 6,580	円 80	% △2.2	16,820	% △2.6	% -	% 98.3	百万円 754
61期末(2017年8月14日)	6,548	80	0.7	16,931	0.7	0.0	98.4	716
62期末(2017年9月13日)	6,582	80	1.7	17,345	2.4	-	98.4	694
63期末(2017年10月13日)	6,495	80	△0.1	17,423	0.4	-	98.2	661
64期末(2017年11月13日)	6,461	80	0.7	17,559	0.8	-	98.4	644
65期末(2017年12月13日)	6,393	80	0.2	17,710	0.9	-	98.9	615
66期末(2018年1月15日)	6,128	80	△2.9	17,071	△3.6	-	98.4	592
67期末(2018年2月13日)	5,770	80	△4.5	16,178	△5.2	-	98.3	561
68期末(2018年3月13日)	5,794	80	1.8	16,562	2.4	-	98.5	465
69期末(2018年4月13日)	5,693	80	△0.4	16,509	△0.3	-	98.2	455
70期末(2018年5月14日)	5,781	80	3.0	17,388	5.3	-	98.3	454
71期末(2018年6月13日)	5,731	80	0.5	17,739	2.0	-	98.2	460
72期末(2018年7月13日)	5,683	80	0.6	18,232	2.8	-	98.7	467
73期末(2018年8月13日)	5,594	80	△0.2	18,155	△0.4	-	98.5	486
74期末(2018年9月13日)	5,527	80	0.2	18,425	1.5	-	99.4	480
75期末(2018年10月15日)	5,188	80	△4.7	17,258	△6.3	-	98.3	438
76期末(2018年11月13日)	5,304	80	3.8	18,158	5.2	-	98.4	446
77期末(2018年12月13日)	5,249	80	0.5	18,086	△0.4	-	98.3	414
78期末(2019年1月15日)	5,111	80	△1.1	17,829	△1.4	-	98.4	408
79期末(2019年2月13日)	5,173	80	2.8	19,054	6.9	-	98.4	398
80期末(2019年3月13日)	5,120	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.4	396
81期末(2019年4月15日)	5,091	80	1.0	19,863	2.8	-	98.4	399
82期末(2019年5月13日)	4,998	80	△0.3	19,683	△0.9	-	98.4	371
83期末(2019年6月13日)	4,983	80	1.3	20,084	2.0	-	98.8	371
84期末(2019年7月16日)	4,939	80	0.7	20,415	1.6	-	98.5	369
85期末(2019年8月13日)	4,888	50	△0.0	20,386	△0.1	-	98.5	355
86期末(2019年9月13日)	4,885	50	1.0	20,971	2.9	-	98.3	355
87期末(2019年10月15日)	4,896	50	1.2	21,434	2.2	-	98.1	367
88期末(2019年11月13日)	4,714	50	△2.7	20,998	△2.0	-	98.4	359
89期末(2019年12月13日)	4,635	50	△0.6	20,883	△0.5	-	98.4	347

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

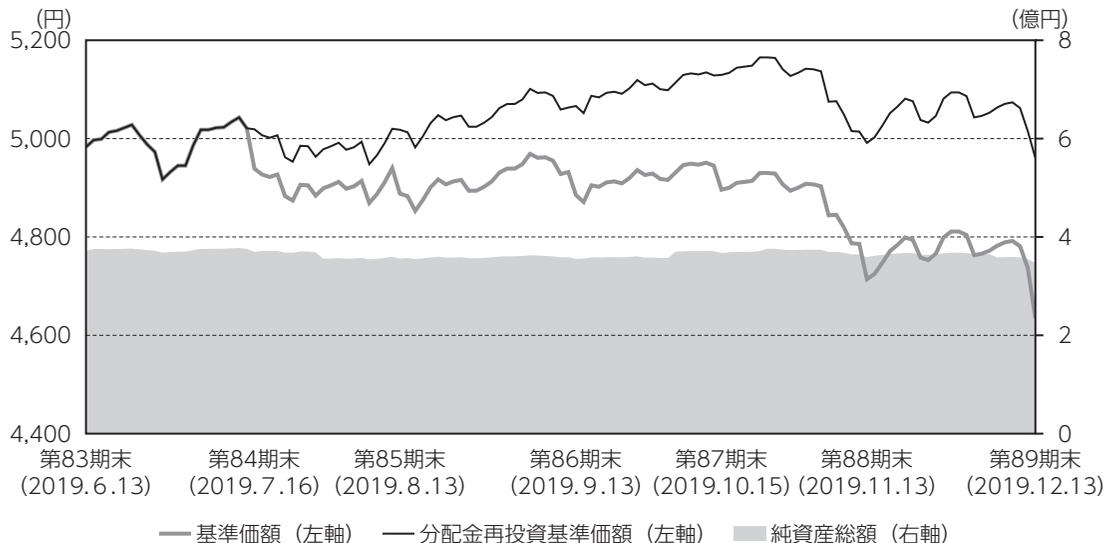
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：4,983円

第89期末：4,635円（既払分配金330円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の上昇はプラスに寄与しましたが、運用管理費用などがマイナス要因となり、基準価額は小幅に下落しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資と

オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（円ヘッジクラス）：
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第84期	(期首) 2019年6月13日	4,983	—	20,084	—	—	98.8
	6月末	4,932	△1.0	19,870	△1.1	—	98.5
	(期末) 2019年7月16日	5,019	0.7	20,415	1.6	—	98.5
第85期	(期首) 2019年7月16日	4,939	—	20,415	—	—	98.5
	7月末	4,912	△0.5	20,365	△0.2	—	98.5
	(期末) 2019年8月13日	4,938	△0.0	20,386	△0.1	—	98.5
第86期	(期首) 2019年8月13日	4,888	—	20,386	—	—	98.5
	8月末	4,931	0.9	20,745	1.8	—	98.3
	(期末) 2019年9月13日	4,935	1.0	20,971	2.9	—	98.3
第87期	(期首) 2019年9月13日	4,885	—	20,971	—	—	98.3
	9月末	4,926	0.8	21,368	1.9	—	98.5
	(期末) 2019年10月15日	4,946	1.2	21,434	2.2	—	98.1
第88期	(期首) 2019年10月15日	4,896	—	21,434	—	—	98.1
	10月末	4,908	0.2	21,804	1.7	—	98.4
	(期末) 2019年11月13日	4,764	△2.7	20,998	△2.0	—	98.4
第89期	(期首) 2019年11月13日	4,714	—	20,998	—	—	98.4
	11月末	4,811	2.1	21,668	3.2	—	98.1
	(期末) 2019年12月13日	4,685	△0.6	20,883	△0.5	—	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.6.14~2019.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の金融市場は、米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感、世界経済の成長への不安などを背景に、不安定な展開となりました。

先進国リート市況は、当作成期首から2019年10月にかけて、主要各国における金利低下の恩恵を受けておおむね上昇基調で推移しました。11月から当作成期末にかけては、米中通商協議における合意期待や製造業における業況安定化の兆しなどからリスク選好の相場となり、株式市場は上昇しましたが長期金利が上昇したことから、先進国リート市況は軟調となりました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、日本や英国、ドイツなどが堅調だった一方で、香港などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や各種不動産、住宅などが堅調だった一方で、貸倉庫や商業施設などが低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計0.75%ポイント引き下げ、1.50~1.75%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。FRB（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.6.14~2019.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダ、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

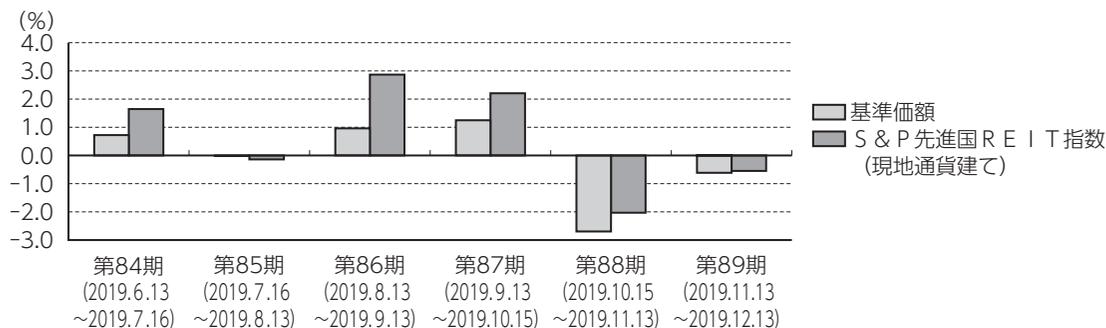
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年6月14日 ~2019年7月16日	2019年7月17日 ~2019年8月13日	2019年8月14日 ~2019年9月13日	2019年9月14日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月13日	2019年11月14日 ~2019年12月13日
当期分配金(税込み)(円)	80	50	50	50	50	50
対基準価額比率(%)	1.59	1.01	1.01	1.01	1.05	1.07
当期の収益(円)	41	41	37	42	40	40
当期の収益以外(円)	39	8	12	7	9	9
翌期繰越分配対象額(円)	865	856	844	838	828	818

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 40.99円	✓ 41.60円	✓ 37.66円	✓ 42.28円	✓ 40.29円	✓ 40.31円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 904.18	✓ 865.26	✓ 856.93	✓ 845.99	✓ 838.30	✓ 828.60
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	945.18	906.87	894.60	888.28	878.60	868.92
(f) 分配金	80.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	865.18	856.87	844.60	838.28	828.60	818.92

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B（米国連邦準備制度理事会）をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第一段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回り、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2019.6.14～2019.12.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,897円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	33	0.671	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

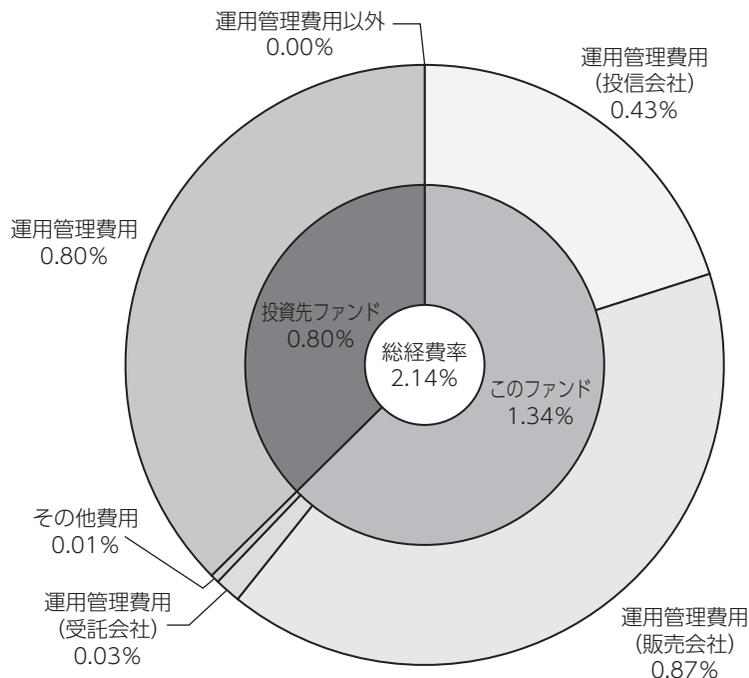
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



総経費率 (①+②+③)	2.14%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年6月14日から2019年12月13日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	765.95863	36,455	887.42354	41,873

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年6月14日から2019年12月13日まで)

第 84 期				~	第 89 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	333.371	16,000	47	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	887.42354	41,873	47	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	7,501.4088	341,824	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月13日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 341,824	% 97.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.1
コール・ローン等、その他	9,455	2.7
投資信託財産総額	351,679	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月16日)、(2019年8月13日)、(2019年9月13日)、(2019年10月15日)、(2019年11月13日)、(2019年12月13日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	376,172,012円	359,687,530円	359,480,012円	371,440,428円	363,815,653円	351,679,865円
コール・ローン等	11,595,359	8,952,404	9,843,818	10,886,418	9,960,170	9,455,988
投資信託受益証券(評価額)	364,176,892	350,335,365	349,236,473	360,154,289	353,455,802	341,824,196
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	399,761	399,761	399,721	399,721	399,681	399,681
(B) 負債	6,440,231	4,012,595	4,049,241	4,185,427	4,717,232	4,166,856
未払収益分配金	5,989,210	3,638,536	3,637,823	3,750,684	3,809,117	3,748,687
未払解約金	-	-	-	-	497,599	-
未払信託報酬	448,196	368,954	403,878	424,609	397,938	403,138
その他未払費用	2,825	5,105	7,540	10,134	12,578	15,031
(C) 純資産総額(A-B)	369,731,781	355,674,935	355,430,771	367,255,001	359,098,421	347,513,009
元本	748,651,333	727,707,298	727,564,719	750,136,852	761,823,434	749,737,517
次期繰越増益金	△378,919,552	△372,032,363	△372,133,948	△382,881,851	△402,725,013	△402,224,508
(D) 受益権総口数	748,651,333口	727,707,298口	727,564,719口	750,136,852口	761,823,434口	749,737,517口
1万口当り基準価額(C/D)	4,939円	4,888円	4,885円	4,896円	4,714円	4,635円

*第83期末における元本額は745,901,815円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は63,144,336円、同解約元本額は59,308,634円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は4,635円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は402,224,508円です。

■損益の状況

第84期 自2019年6月14日 至2019年7月16日 第87期 自2019年9月14日 至2019年10月15日
 第85期 自2019年7月17日 至2019年8月13日 第88期 自2019年10月16日 至2019年11月13日
 第86期 自2019年8月14日 至2019年9月13日 第89期 自2019年11月14日 至2019年12月13日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	3,520,386円	3,398,954円	3,062,397円	3,475,099円	3,470,420円	3,428,505円
受取配当金	3,520,838	3,399,357	3,062,755	3,475,491	3,470,637	3,428,749
受取利息	-	6	-	13	2	10
支払利息	△ 452	△ 409	△ 358	△ 405	△ 219	△ 254
(B) 有価証券売買損益	△ 417,755	△ 3,091,133	805,478	1,427,326	△ 13,170,964	△ 5,164,307
売買益	1,753	152,874	813,776	1,423,331	12,271	22,449
売買損	△ 419,508	△ 3,244,007	△ 8,298	3,995	△ 13,183,235	△ 5,186,756
(C) 信託報酬等	△ 451,021	△ 371,234	△ 406,374	△ 427,206	△ 400,382	△ 405,591
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,651,610	△ 63,413	3,461,501	4,475,219	△ 10,100,926	△ 2,141,393
(E) 前期繰越増益金	△240,964,368	△232,151,018	△233,670,477	△231,613,464	△229,837,770	△237,857,055
(F) 追加信託差増益金	△134,617,584	△136,179,396	△138,287,149	△151,992,922	△158,977,200	△158,477,373
(配当等相当額)	(67,691,823)	(62,966,182)	(62,347,293)	(63,461,120)	(63,864,123)	(62,123,693)
(売買損益相当額)	(△202,309,407)	(△199,145,578)	(△200,634,442)	(△215,454,042)	(△222,841,323)	(△220,601,066)
(G) 合計(D+E+F)	△372,930,342	△368,393,827	△368,496,125	△379,131,167	△398,915,896	△398,475,821
(H) 収益分配金	△ 5,989,210	△ 3,638,536	△ 3,637,823	△ 3,750,684	△ 3,809,117	△ 3,748,687
次期繰越増益金(G+H)	△378,919,552	△372,032,363	△372,133,948	△382,881,851	△402,725,013	△402,224,508
追加信託差増益金	△137,537,453	△136,790,228	△139,184,318	△152,571,329	△159,716,289	△159,203,155
(配当等相当額)	(64,771,954)	(62,355,350)	(61,450,124)	(62,882,713)	(63,125,034)	(61,397,911)
(売買損益相当額)	(△202,309,407)	(△199,145,578)	(△200,634,442)	(△215,454,042)	(△222,841,323)	(△220,601,066)
繰越増益金	△241,382,099	△235,242,135	△232,949,630	△230,310,522	△243,008,724	△243,021,353

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差増益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,069,341円	3,027,704円	2,740,654円	3,172,277円	3,070,028円	3,022,905円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	67,691,823	62,966,182	62,347,293	63,461,120	63,864,123	62,123,693
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	70,761,164	65,993,886	65,087,947	66,633,397	66,934,151	65,146,598
(f) 分配金	5,989,210	3,638,536	3,637,823	3,750,684	3,809,117	3,748,687
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	64,771,954	62,355,350	61,450,124	62,882,713	63,125,034	61,397,911
(h) 受益権総口数	748,651,333口	727,707,298口	727,564,719口	750,136,852口	761,823,434口	749,737,517口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクトコース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2017年7月13日)	4,570	100	0.2	16,820	△2.6	—	98.5	6,780
61期末(2017年8月14日)	4,412	100	△1.3	16,931	0.7	0.0	98.3	6,470
62期末(2017年9月13日)	4,517	100	4.6	17,345	2.4	—	98.7	6,589
63期末(2017年10月13日)	4,402	100	△0.3	17,423	0.4	—	98.5	6,383
64期末(2017年11月13日)	4,306	100	0.1	17,559	0.8	—	98.5	5,893
65期末(2017年12月13日)	4,262	100	1.3	17,710	0.9	—	98.6	5,413
66期末(2018年1月15日)	4,082	100	△1.9	17,071	△3.6	—	98.7	5,130
67期末(2018年2月13日)	3,702	100	△6.9	16,178	△5.2	—	98.5	4,571
68期末(2018年3月13日)	3,623	100	0.6	16,562	2.4	—	98.5	4,457
69期末(2018年4月13日)	3,521	70	△0.9	16,509	△0.3	—	98.3	4,270
70期末(2018年5月14日)	3,513	70	1.8	17,388	5.3	—	98.3	4,179
71期末(2018年6月13日)	3,414	70	△0.8	17,739	2.0	—	98.4	3,982
72期末(2018年7月13日)	3,401	70	1.7	18,232	2.8	—	98.4	3,932
73期末(2018年8月13日)	3,083	70	△7.3	18,155	△0.4	—	98.4	3,524
74期末(2018年9月13日)	3,016	70	0.1	18,425	1.5	—	98.1	3,418
75期末(2018年10月15日)	2,887	70	△2.0	17,258	△6.3	—	98.3	3,279
76期末(2018年11月13日)	3,008	70	6.6	18,158	5.2	—	98.6	3,392
77期末(2018年12月13日)	3,027	50	2.3	18,086	△0.4	—	98.2	3,407
78期末(2019年1月15日)	2,882	50	△3.1	17,829	△1.4	—	98.4	3,193
79期末(2019年2月13日)	3,018	50	6.5	19,054	6.9	—	98.4	3,273
80期末(2019年3月13日)	3,003	50	1.2	19,318	1.4	0.0	98.3	3,234
81期末(2019年4月15日)	3,040	50	2.9	19,863	2.8	—	98.6	3,234
82期末(2019年5月13日)	2,879	50	△3.7	19,683	△0.9	—	98.5	3,039
83期末(2019年6月13日)	2,912	50	2.9	20,084	2.0	—	98.6	2,872
84期末(2019年7月16日)	2,932	50	2.4	20,415	1.6	—	98.3	2,863
85期末(2019年8月13日)	2,815	50	△2.3	20,386	△0.1	—	98.6	2,720
86期末(2019年9月13日)	2,867	50	3.6	20,971	2.9	—	98.5	2,776
87期末(2019年10月15日)	2,870	50	1.8	21,434	2.2	—	98.4	2,775
88期末(2019年11月13日)	2,791	50	△1.0	20,998	△2.0	—	98.3	2,679
89期末(2019年12月13日)	2,763	50	0.8	20,883	△0.5	—	98.6	2,636

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数（現地通貨建て）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数（現地通貨建て）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

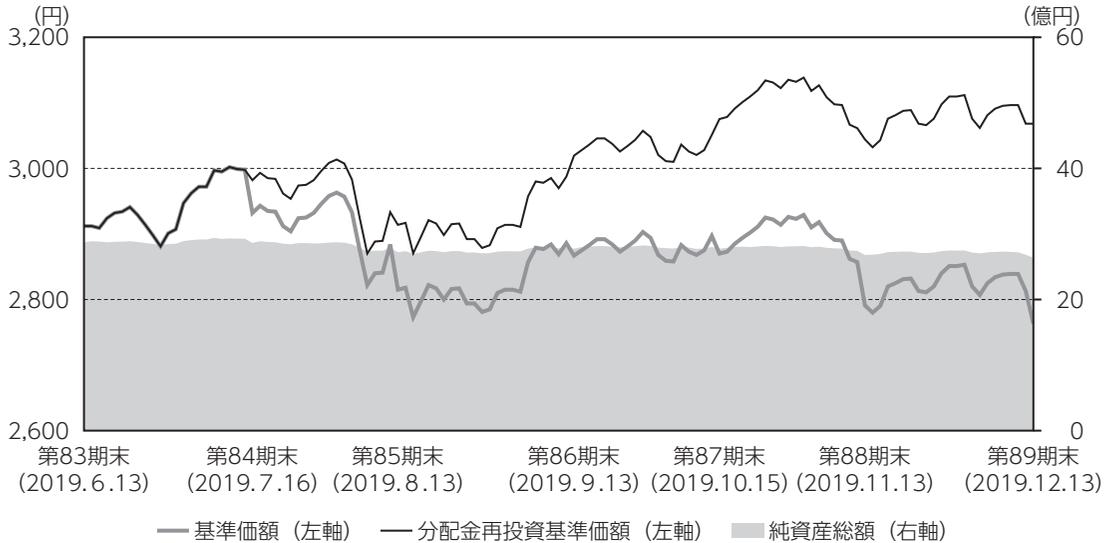
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：2,912円

第89期末：2,763円（既払分配金300円）

騰落率：5.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構

築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが上昇したことや選定通貨が対円で上昇したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第84期	(期首) 2019年6月13日	2,912	—	20,084	—	—	98.6
	6月末	2,901	△0.4	19,870	△1.1	—	99.2
	(期末) 2019年7月16日	2,982	2.4	20,415	1.6	—	98.3
第85期	(期首) 2019年7月16日	2,932	—	20,415	—	—	98.3
	7月末	2,963	1.1	20,365	△0.2	—	99.1
	(期末) 2019年8月13日	2,865	△2.3	20,386	△0.1	—	98.6
第86期	(期首) 2019年8月13日	2,815	—	20,386	—	—	98.6
	8月末	2,810	△0.2	20,745	1.8	—	98.1
	(期末) 2019年9月13日	2,917	3.6	20,971	2.9	—	98.5
第87期	(期首) 2019年9月13日	2,867	—	20,971	—	—	98.5
	9月末	2,903	1.3	21,368	1.9	—	98.1
	(期末) 2019年10月15日	2,920	1.8	21,434	2.2	—	98.4
第88期	(期首) 2019年10月15日	2,870	—	21,434	—	—	98.4
	10月末	2,929	2.1	21,804	1.7	—	99.0
	(期末) 2019年11月13日	2,841	△1.0	20,998	△2.0	—	98.3
第89期	(期首) 2019年11月13日	2,791	—	20,998	—	—	98.3
	11月末	2,851	2.1	21,668	3.2	—	98.1
	(期末) 2019年12月13日	2,813	0.8	20,883	△0.5	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.6.14~2019.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の金融市場は、米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感、世界経済の成長への不安などを背景に、不安定な展開となりました。

先進国リート市況は、当作成期首から2019年10月にかけて、主要各国における金利低下の恩恵を受けておおむね上昇基調で推移しました。11月から当作成期末にかけては、米中通商協議における合意期待や製造業における業況安定化の兆しなどからリスク選好の相場となり、株式市場は上昇しましたが長期金利が上昇したことから、先進国リート市況は軟調となりました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、日本や英国、ドイツなどが堅調だった一方で、香港などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や各種不動産、住宅などが堅調だった一方で、貸倉庫や商業施設などが低調でした。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちな動きとなりましたが、全体としてはおおむね上昇しました。

当作成期首から2019年7月末にかけては、各国の中央銀行が緩和的な金融政策をとる中で、相対的に金利の高い新興国市場への資金流入期待が高まったことなどから、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。8月に入ると、米中貿易摩擦への懸念が高まり、選定通貨は対円で下落しました。9月以降は、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから、選定通貨は対円で上昇しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、フィリピン・ペソは対円で上昇しました。一方で、インド・ルピー、ルーマニア・レイ、中国・人民元は対円で下落しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では3回の利下げが実施され、政策金利の誘導目標レンジは2.25~2.50%から1.50~1.75%に引き下げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。FRB（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.6.14~2019.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移

させ、英国やオランダ、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

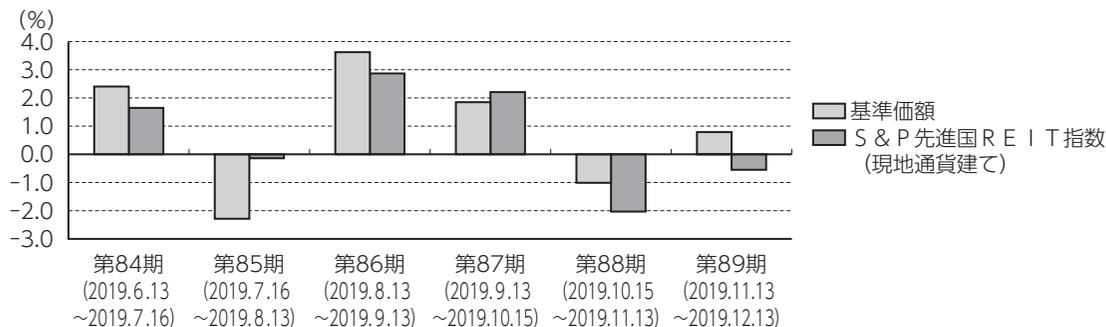
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年6月14日 ～2019年7月16日	2019年7月17日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月13日	2019年9月14日 ～2019年10月15日	2019年10月16日 ～2019年11月13日	2019年11月14日 ～2019年12月13日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（％）	1.68	1.75	1.71	1.71	1.76	1.78
当期の収益（円）	50	46	50	48	41	39
当期の収益以外（円）	—	3	—	1	8	10
翌期繰越分配対象額（円）	3,010	3,007	3,019	3,017	3,009	2,999

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 56.01円	✓ 46.50円	✓ 62.36円	✓ 48.18円	✓ 41.85円	✓ 39.58円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,592.31	2,594.55	2,597.43	2,599.80	2,603.02	2,605.80
(d) 分配準備積立金	412.47	✓ 416.25	409.89	✓ 419.89	✓ 414.94	✓ 404.02
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,060.80	3,057.32	3,069.69	3,067.88	3,059.82	3,049.42
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,010.80	3,007.32	3,019.69	3,017.88	3,009.82	2,999.42

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B（米国連邦準備制度理事会）をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第一段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回り、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2019.6.14～2019.12.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,879円です。
（投 信 会 社）	(6)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(13)	(0.434)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(0)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	19	0.669	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

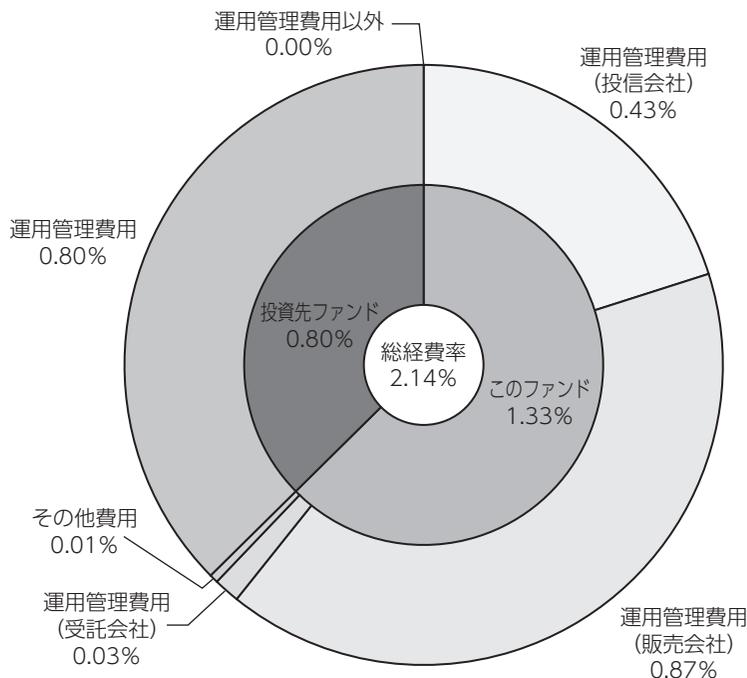
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



総経費率 (①+②+③)	2.14%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年6月14日から2019年12月13日まで）

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	9,875.82342	302,787	12,951.96278	398,792

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2019年6月14日から2019年12月13日まで）

第 84 期				第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS（ケイマン諸島）	12,951.96278	398,792	30

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	千口 86,140.40594	千円 2,599,200	% 98.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月13日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,599,200	96.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	105,630	3.9
投資信託財産総額	2,704,930	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月16日)、(2019年8月13日)、(2019年9月13日)、(2019年10月15日)、(2019年11月13日)、(2019年12月13日)現在

項 目	第 84 期 末	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末	第 89 期 末
(A) 資産	2,916,096,329円	2,771,844,534円	2,830,212,155円	2,827,054,378円	2,734,023,223円	2,704,930,719円
コール・ローン等	100,995,082	89,012,947	95,404,846	97,121,071	98,942,732	105,630,191
投資信託受益証券(評価額)	2,815,001,307	2,682,731,647	2,734,707,379	2,729,833,377	2,634,980,571	2,599,200,608
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	99,940	99,940	99,930	99,930	99,920	99,920
(B) 負債	52,495,903	51,242,583	54,100,759	51,701,432	54,496,216	68,849,927
未払収益分配金	48,828,039	48,321,520	48,416,030	48,344,637	48,003,434	47,710,629
未払解約金	182,363	-	2,539,973	286	3,398,308	18,007,880
未払信託報酬	3,463,484	2,881,168	3,086,201	3,277,818	2,997,217	3,015,648
その他未払費用	22,017	39,895	58,555	78,691	97,257	115,770
(C) 純資産総額(A-B)	2,863,600,426	2,720,601,951	2,776,111,396	2,775,352,946	2,679,527,007	2,636,080,792
元本	9,765,607,921	9,664,304,127	9,683,206,041	9,668,927,487	9,600,686,939	9,542,125,956
次期繰越増益金	△6,902,007,495	△6,943,702,176	△6,907,094,645	△6,893,574,541	△6,921,159,932	△6,906,045,164
(D) 受益権総口数	9,765,607,921口	9,664,304,127口	9,683,206,041口	9,668,927,487口	9,600,686,939口	9,542,125,956口
1万口当り基準価額(C/D)	2,932円	2,815円	2,867円	2,870円	2,791円	2,763円

*第83期末における元本額は9,864,711,674円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は373,550,428円、同解約元本額は696,136,146円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は2,763円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,906,045,164円です。

■損益の状況

第84期 自2019年6月14日 至2019年7月16日 第87期 自2019年9月14日 至2019年10月15日
 第85期 自2019年7月17日 至2019年8月13日 第88期 自2019年10月16日 至2019年11月13日
 第86期 自2019年8月14日 至2019年9月13日 第89期 自2019年11月14日 至2019年12月13日

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(A) 配当等収益	57,470,584円	47,847,330円	62,293,147円	49,561,266円	43,198,494円	40,808,850円
受取配当金	57,474,144	47,850,424	62,296,343	49,564,433	43,199,916	40,810,996
受取利息	10	12	-	101	19	90
支払利息	△ 3,570	△ 3,106	△ 3,196	△ 3,268	△ 1,441	△ 2,236
(B) 有価証券売買損益	14,903,055	△ 109,917,816	39,415,355	5,414,805	△ 68,507,890	△ 17,194,569
売買益	14,889,981	467,800	39,393,058	6,550,244	56,513	17,000
売買損	13,074	△ 110,385,616	22,297	△ 1,135,439	△ 68,564,403	△ 17,211,569
(C) 信託報酬等	△ 3,485,501	△ 2,899,046	△ 3,105,382	△ 3,297,985	△ 3,015,783	△ 3,034,161
(D) 当期増益金(A+B+C)	68,888,138	△ 64,969,532	98,603,120	51,678,086	△ 28,325,179	20,580,120
(E) 前期繰越増益金	△5,864,191,698	△5,752,612,080	△5,836,444,898	△5,745,450,960	△5,658,815,317	△5,661,315,662
(F) 追加信託差増益金	△1,057,875,896	△1,077,799,044	△1,120,836,837	△1,151,457,030	△1,186,016,002	△1,217,598,993
(配当等相当額)	(2,531,550,554)	(2,507,455,792)	(2,515,154,152)	(2,513,731,251)	(2,499,083,860)	(2,486,495,805)
(売買損益相当額)	(△3,589,426,450)	(△3,585,254,836)	(△3,635,990,989)	(△3,665,188,281)	(△3,685,099,862)	(△3,704,094,798)
(G) 合計(D+E+F)	△6,853,179,456	△6,895,380,656	△6,858,678,615	△6,845,229,904	△6,873,156,498	△6,858,334,535
(H) 収益分配金	△ 48,828,039	△ 48,321,520	△ 48,416,030	△ 48,344,637	△ 48,003,434	△ 47,710,629
次期繰越増益金(G+H)	△6,902,007,495	△6,943,702,176	△6,907,094,645	△6,893,574,541	△6,921,159,932	△6,906,045,164
追加信託差増益金	△1,057,875,896	△1,077,799,044	△1,120,836,837	△1,151,457,030	△1,186,016,002	△1,217,598,993
(配当等相当額)	(2,531,550,554)	(2,507,455,792)	(2,515,154,152)	(2,513,731,251)	(2,499,083,860)	(2,486,495,805)
(売買損益相当額)	(△3,589,426,450)	(△3,585,254,836)	(△3,635,990,989)	(△3,665,188,281)	(△3,685,099,862)	(△3,704,094,798)
分配準備積立金	408,683,173	398,909,926	408,881,694	404,241,602	390,556,455	375,592,896
繰越増益金	△6,252,814,772	△6,264,813,058	△6,195,139,502	△6,146,359,113	△6,125,700,385	△6,064,039,067

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差増益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,702,745円	44,948,283円	60,391,101円	46,588,131円	40,182,711円	37,774,689円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,531,550,554	2,507,455,792	2,515,154,152	2,513,731,251	2,499,083,860	2,486,495,805
(d) 分配準備積立金	402,808,467	402,283,163	396,906,623	405,998,108	398,377,178	385,528,836
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,989,061,766	2,954,687,238	2,972,451,876	2,966,317,490	2,937,643,749	2,909,799,330
(f) 分配金	48,828,039	48,321,520	48,416,030	48,344,637	48,003,434	47,710,629
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,940,233,727	2,906,365,718	2,924,035,846	2,917,972,853	2,889,640,315	2,862,088,701
(h) 受益権総口数	9,765,607,921口	9,664,304,127口	9,683,206,041口	9,668,927,487口	9,600,686,939口	9,542,125,956口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年12月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2019年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 18,248,608,982円）	10,485,042,165
デリバティブ金融商品の評価額	52,057,878
未収利息	1,806,042
約定未収金	-
資産合計	10,538,906,085
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	52,726,131
未払報酬代行会社報酬	1,806,042
未払償還金	-
負債合計	54,532,173
償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産	10,484,373,912
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	2,622,846,528
円ヘッジクラス受益証券	4,536,630,444
通貨セレクトクラス受益証券	3,248,761,961
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	41,038,550
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	35,096,429
発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	37,978,559
円ヘッジクラス受益証券	94,519,945
通貨セレクトクラス受益証券	99,403,264
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	742,575
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	617,846
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	69.061
円ヘッジクラス受益証券	47.997
通貨セレクトクラス受益証券	32.683
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	55.265
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	56.804

包括利益計算書

2019年2月28日に終了した年度

(円)

収益	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,149,239,335
担保付スワップ投資による純損失	(882,830,010)
デリバティブ純利益	2,399,736
	<u>1,268,809,061</u>
収益合計	<u>1,268,809,061</u>
営業費用	65,280,245
営業費用合計	<u>65,280,245</u>
金融費用控除前営業利益	1,203,528,816
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,083,959,090)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(880,430,274)</u></u>

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

決済日	契約数	受取 (評価益) (円)	支払 (評価損) (円)	(純) 評価額 (円)
2019年3月19日	6	43,474,096	(13,367,863)	30,106,233
2019年3月20日	26	8,583,782	(39,358,268)	(30,774,486)
(純) 評価額		<u>52,057,878</u>	<u>(52,726,131)</u>	<u>(668,253)</u>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第89期の決算日（2019年12月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年6月14日～2019年12月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年12月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

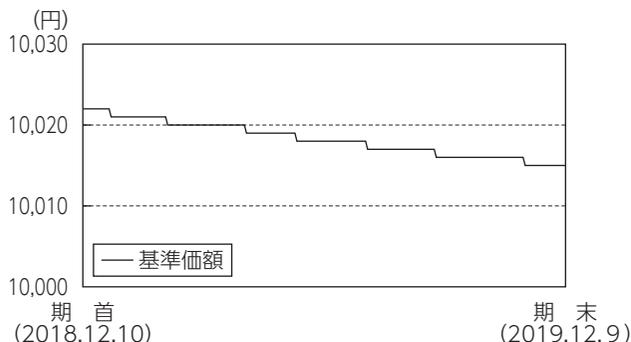
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
		千円	千円
801	国庫短期証券 2019/3/18	250,003	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A - B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当たり基準価額(C / D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解除元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株式ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。